

2023年度

ニチキッズあいずみ北保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2024年1月11日（木）～2月7日（水）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2024年2月29日（木）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	「おもいっきり遊ぶ 思いっきり学ぶ」の保育理念に則り、子ども一人ひとりの気持ちを受容し寄り添い子どもの気持ちを汲み取ることの大切さを共有した。子ども自ら自発的に保育活動や遊びに取り組めるよう、年間遊び計画を立て実践することで、子どもたちの興味関心に沿った保育内容が充実できた。
子どもの発達援助	保育者が一人ひとりの子どもの個性や発達を理解し、子どもの主体的な活動をとおして楽しめるよう努めるが、子どもたちにとって安全安心な環境について考えたり、保育者が危機感を持ち常に安全な保育を行うことを話し合い実践している。
保護者に対する支援	送迎の際にその日の子どもの嬉しかった事や楽しんだ事を伝え、保護者と共に子どもの小さな成長や変化を喜び合った。保護者の質問や子育ての悩みなど、離しやすい雰囲気ができるよう丁寧に傾聴したり、笑顔で明るい挨拶を職員みんなで行い、日々のかかわりを大事にした。
保育を支える組織的基盤	職員の資質向上の為に園内研修やクラスMTGを実践した。外部研修は目的を持って参加し、スキルアップを図った。他の職員の研修報告をお互いに共有することで知識や技術を学びに変えた。今後もチームワークを大切にしていき、取り組んだ保育の内容や成果を話し合い、子ども理解を深めていきたい。何でも意見の出し合えるチームワークの中で子どもにとっての保育を一番に考えていきたい。

総評
今年度は「年間遊び計画」を立て、子どもたちにとっての遊びにねらいを持って取り組んだ。各年齢ごとに予想される子どもの活動も考え、年間を通して振り返り、次年に生かす展開が出来た。園での遊び体験は様々なことの学びを身につける機会となり、楽しみながら、人格形成につながることである。実践をとおして各職員が工夫して取り組み、学び得ることが出来たと思う。信頼できる保育者や仲間の援助や見守りが大切であり、子ども一人ひとりのやってみたい、もっと知りたいという気持ちを受け止めて安心して自己発揮できる遊び環境を作っていく、また遊びの場面におけるエピソードを描き職員で共有し子どもを見つめる視点を広げていく。